

カーボンニュートラル実現のための新たな資金調達の枠組み  
「東北電カグリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワーク」  
の策定について

当社は、本日「東北電カグループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」の実現に向けた、新たな資金調達の枠組みである「東北電カグリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワーク」（以下、本フレームワーク）を策定いたしました。

これまで当社は、2020年1月に策定した「東北電カグリーンファイナンス・フレームワーク」に基づき、グリーンボンドおよびグリーンローンによって再生可能エネルギーの開発に係る資金調達を実施してまいりました。

本フレームワークは、「東北電カグループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」に向けた資金調達手法の多様化を図る観点から、これまでのグリーンファイナンスに加え、企業の温室効果ガス排出削減に向けた長期的な移行（トランジション）戦略に則った取り組みを対象としたトランジション・ファイナンス（資金用途特定型および資金用途不特定型）を新たに包括しました。これにより、これまでよりさらに広範囲な資金用途に対する資金調達や、カーボンニュートラルの目標に対する達成度に応じて金利条件等を変動させる手法での資金調達などが可能となります。

本フレームワークの策定にあたっては、第三者評価機関であるDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からグリーンファイナンス、トランジション・ファイナンスおよびサステナビリティ・リンク・ファイナンスに関する各種基準への適格性についての評価を受けています。

また、ストラクチャリング・エージェントとしてSMBC日興証券株式会社、株式会社日本政策投資銀行、株式会社みずほ銀行の支援を受けております。

当社グループは、地域やお客さまによりそう企業として、持続可能な社会の実現に向けて、カーボンニュートラルに積極的に挑戦してまいります。

以上

（参考資料）

- ・グリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワークセカンド・パーティ・オピニオン
- ・東北電カグリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワーク

【グリーン／トランジション・ファイナンス（資金用途特定型）における資金用途候補】

ロードマップ	適格クライテリア	プロジェクト概要	プロジェクト（例）
再エネと原子力の最大限活用	再生可能エネルギー	風力・地熱・太陽光・水力・バイオマス発電事業の開発・建設・運営・改修（※）	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ウィンドファームつがる（陸上風力）</li> <li>✓ 玉川第二発電所（水力）</li> <li>✓ 宮城大郷ソーラーパーク（太陽光）</li> <li>✓ 松川地熱発電所（地熱）</li> </ul>
	原子力	さらなる安全性の向上・安全／安定運転の継続	✓ 女川原子力発電所2号機安全対策工事
	電力系統	系統整備やデジタル化による高度化、余剰再エネの蓄電・P2G等	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 東北東京間連系線</li> <li>✓ 東北北部エリア電源募集プロセス</li> </ul>
火力の脱炭素化	LNG火力	水素・アンモニア利用による低・脱炭素化火力の高効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新潟火力発電所5号系列での混焼事業</li> <li>✓ 上越火力発電所1号の開発</li> </ul>
	石炭火力	バイオマス・アンモニア利用による低・脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 能代火力発電所での「ブラックペレット」混焼実証</li> <li>✓ 発電所遊休地を活用したバイオマス原料製造実証</li> </ul>
	非効率電源のフェードアウト	経年火力の休廃止	✓ 東新潟火力発電所港1号および港2号の廃止
	CCUS	CCUSの検討	✓ 火力由来CO2のメタン変換研究
電化とスマート社会	家庭・業務	ヒートポンプ電化 再エネメニューの販売 クレジットの購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 電化システムの導入</li> <li>✓ よりそう、再エネ電気</li> </ul>
	運輸	電気自動車の普及 促進等	✓ 社有車の電動化（※）
	産業	生産プロセスのエネルギー転換等	✓ 熱源の電化（※）
	分散型エネルギーの活用	自家用太陽光・蓄電池サービス等を活用したVPP事業等	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ あおぞらeチャージサービス（※）</li> <li>✓ 再エネアグリゲーション事業（※）</li> </ul>

※ これらはグリーン適格プロジェクトとなり、グリーンファイナンスとして活用することがあります。

【トランジション・ファイナンス（資金使途不特定型）における KPI・SPT】

重要業績評価指標（KPI）	サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPT）
CO2排出量（※）	2013年度比で2030年度に半減

※小売電力由来の排出量